

2022年4月30日

奉仕活動報告		クラブ名(グループ名)	ロータリークラブ(1G)		
		東京愛宕ロータリークラブ			
		担当名	連絡先(e-mail)		
		関端広輝	hiroki_sekibata@amt-law.com		
1	活動名称	アート・オブ・ザ・ラフダイヤモンド			
2	実施期間	2021年10月21日~2022年6月30日(レセプションは、2021年10月26日)			
3	実施場所	セガ・サミー・ホールディングス本社及びウェブ上 (https://www.artsteps.com/view/616a2a7c176ed8ba99158063/)			
4	活動の内容				
<p>(内容)アートのダイヤモンドの原石を見つけて光輝させる活動。障がいがあるけれど素晴らしいアート作品を描くアーティストがいます。しかし、障がい者ということで作品の評価は低く、障がい者は収入も低いのです。そこで、そういう差別や偏見を無くしたい、優れた作品はアートとして才能を評価されると良い、という思いで、この事業を始めました。</p> <p>最初は2017年に伊藤忠ギャラリーで展覧会を開催し、大成功を収めました。その後コロナ禍により、リアルでの展覧会の開催が難しくなったため、ウェブ上のバーチャルギャラリーでの展示・販売に挑戦してきました。</p> <p>2021-2022年度は、バーチャル・ギャラリーのほかに、セガ・サミー・ホールディング等との共催で、同社の本社レセプションルームを無償でお借りし、アート作品の展示及び販売を行いました。</p> <p>これまでの実施実績は、105作品を販売し、販売代金370万円を、障がい者に対し寄付しました。(参加人数は、レセプション参加者)</p>		継続期間	2021年10月21日～ 2022年6月30日		
		参加人数	150 名		
			内 ロータリー関係	20 名	
			内 他参加者	130 名	
		事業費	489,000 円		
		実施形態	主催		
註1. 内容は箇条書きでも可					
註2. 活動費は実行または予算(万円)					
註3. 事業形態		をクリックしてチェックして下さい			
5	活動の改善すべき点・感想・自己評価				
<p>コロナ禍でも空間・時間の制約を受けずにアートの鑑賞を可能にし、さらにリアル会場で作品を一堂に集め、純粋にその才能に焦点を当て、アーティストとして障がい者を紹介し、その作品性を多くの方に評価いただけた。今後は、地区の他クラブや、海外のクラブとも一緒に開催したいと考えている。</p>					
6	記録画像				
					
画像説明	展示されているアート作品	画像説明	レセプションの様子		
					
画像説明	東京愛宕ロータリークラブのメンバー	画像説明	アート作品を鑑賞する招待客		
備考		備考			

[東京愛宕ロータリークラブ]